

平成24年度二セコ町予算案の概要

平成24年2月

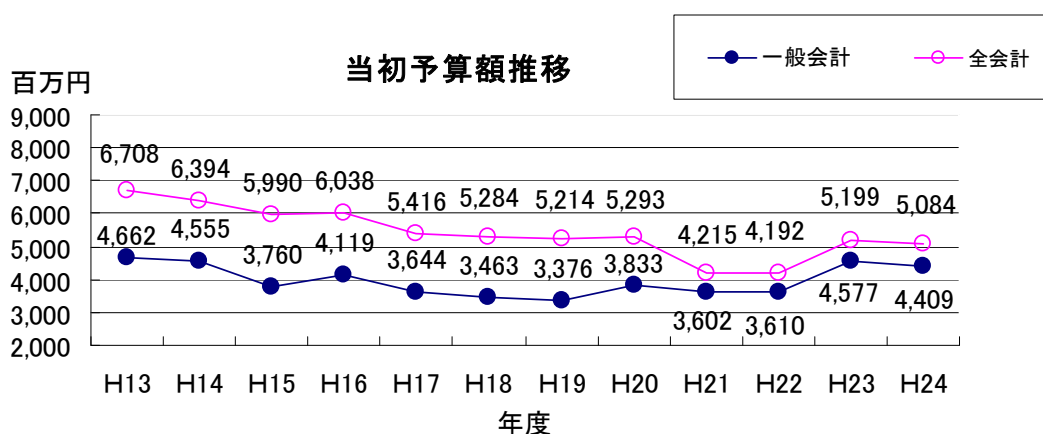
総務課財政係

(数値は一部概算値を用いています)

1 予算規模

単位：万円、%

会 計	24年度予算額		23年度予算額		増減比較			
	当初 A	当初 B	現計 C	当初予算比		現計予算比		
				A-B	増減率(%)	A-C	増減率(%)	
一 般 会 計	440,900	457,700	486,579	△ 16,800	△ 3.7	△ 45,679	△ 9.4	
国民健康保険事業特別会計	22,760	21,000	21,000	1,760	8.4	1,760	8.4	
後期高齢者医療特別会計	4,850	4,450	4,450	400	9.0	400	9.0	
簡易水道事業特別会計	21,680	17,510	18,709	4,170	23.8	2,971	15.9	
公共下水道事業特別会計	17,250	18,080	18,028	△ 830	△ 4.6	△ 778	△ 4.3	
農業集落排水事業特別会計	990	1,170	1,170	△ 180	△ 15.4	△ 180	△ 15.4	
合 計	508,430	519,910	549,936	△ 11,480	△ 2.2	△ 41,506	△ 7.6	
羊蹄山ろく消防組合二セコ支署	15,901	23,268	23,650	△ 7,367	△ 31.7	△ 7,749	△ 32.8	



2 予算案の概要、編成方針

各会計予算の総額は50億8,430万円で、前年当初比1億1,480万円の減少(△2.2%)となりました。町民センターの改修事業の完了による予算の大幅な減少があるものの、草地畜産基盤整備事業(飼料調整貯蔵施設(TMRセンター)の整備)や公営住宅の建設、二セコ小学校体育館の改修事業など公共事業の実施により、昨年度に続き40億円を超える大型予算となっています。

平成24年度予算は「公正、スピード、おもいやり」の理念のもと、地域経済の活性化を最重点課題に据え、農業と観光、商工業の産業振興策など真に必要な事業への重点的な投資による一貫した「攻めの経済」をより加速するとともに、省エネルギー・自然エネルギーの導入による環境負荷低減、子ども・子育て家庭支援や教育環境、高齢者福祉サービスの充実などの政策予算を重点的に配分し、基幹産業を基軸とした「資源と経済が循環する」地域経済の確立、将来にわたり安心して住み続けることができる心温かなまちづくりの推進に力点を置いた予算構成となっています。

また平成24年度は「第5次二セコ町総合計画」の初動の年であり、総合計画に掲げる基本理念を実現するための道筋を付けることとし、次の事業に取り組みます。

【事業者の共同経営による草地畜産基盤整備の推進】

飼料調製貯蔵施設・草地整備事業 事業費 2億4,769万円

【教育環境の充実】

二セコ小学校屋内体育館改修事業 事業費 7,807万円

【二セコ山系の豊かな自然環境を生かした観光拠点づくり】

五色温泉インフォメーションセンター整備事業 事業費 5,298万円

【公共施設の耐震化・体育施設の安全性の確保】

総合体育館アリーナ改修事業 事業費 4,935万円

【高齢者福祉の充実】

認知症高齢者グループホームの整備 事業費 1,327万円

【地域の省エネルギー化の推進】

街路灯LED照明更新事業 事業費 2,790万円

【地域における情報と交流の新たな拠点づくり】

コミュニティFM放送局運営事業 事業費 2,146万円

【二セコ町緑の分権改革の推進】

雪氷倉庫設置促進補助制度の創設 事業費 400万円

【民間事業者による観光振興への支援】

観光魅力アップ事業補助制度の創設 事業費 500万円

【防災対策、防災機能の強化】

原子力防災計画の策定、総合防災訓練の実施、
役場庁舎基本構想の策定 事業費 464万円

一般会計予算案の概要

一般会計予算の総額は44億900万円で、前年当初比1億6,800万円の減少(△3.7%)となりました。

【収入】

町税は、景気の低迷や厳しい雇用環境などの影響に加え、評価替えによる固定資産税の減収により、町税全体では5億7,539万円、前年当初比1,870万円の減少を見込みます。

地方交付税は、18億9,000万円(前年当初比1,400万円の増)を計上しました。普通交付税は、交付税補てんのある過疎対策事業債や辺地債などの償還額が減少するものの、社会保障関係経費の増加や国際交流員制度の活用による増収を見込み、17億4,500万円(前年当初比900万円の増)を計上しています。

また、地方財政対策における財源補填のための町債(臨時財政対策債)の発行は、1億6,566万円を見込みます。

町債(借入金)は、二セコ小学校屋内体育館の改修、総合体育館の耐震補強、五

色温泉休憩所の改築、高齢者グループホームの設計など、将来にわたり活用が期待される大型事業の着手に加え、道路、公営住宅の整備など継続事業により、5億1,496万円（前年当初比2億7,049万円の減）を計上しました。

なお、新規事業については過疎対策事業債などの地方交付税による財源措置のあるものを優先に計上しています。

【支 出】

普通建設事業費（公共投資事業費）は、7億5,417万円（前年当初比2億8,583万円）の減少（△27.5%）となりました。

維持補修費は、1億8,702万円で前年当初比4,490万円の増加です。これは施設の長寿命化と快適性の確保、将来的な改修コストの平準化を図るため、公共施設整備基金を活用して既存公共施設への必要な改修（投資）を行うものであり、町民共有の大切な資産の保有に努めます。

町債元利償還のための公債費（借金）は、7億2,670万円で前年当初比3,168万円の減少となります。

扶助費は、2億4,948万円で784万円の増加となりました。

災害復旧費は、平成23年9月の台風12号により被害が発生した農業用施設や町道などの復旧経費3,489万円を計上しています。

特別会計予算案の概要

国民健康保険事業会計では、療養給付費の増加による後志広域連合負担金の増により、前年当初比1,760万円の増加となっています。財源不足が顕著となっており、本来必要な税負担に改める必要があるため、被保険者の急激な保険税負担を回避しながら、段階的な税率の引き上げを実施することとしています。なお不足する3,460万円については一般会計からの支援を行い、会計運営の収支均衡を図ります。

後期高齢者医療会計は400万円の増加となっています。

簡易水道事業会計は、町民生活の安心に直結する水道水の安定した供給を行うため、町内全域の水道管路の詳細調査を行うとともに災害等による停電への対策工事を実施します。また、国の補助事業により水道の未普及地域となっている有島、元町、モイワ地区の水道区域拡張工事（事業費：5,902万円）を行うため、前年当初比4,170万円の大幅な増加となっています。

下水道事業会計では、公債費の減少により前年当初比830万円の減少となりました。収入では、引き続き資本費平準化債を活用し、下水道供用開始当初の負担の軽減を図ります。

農業集落排水事業会計は、公債費の減少により前年当初比180万円の減少です。

本年度は国民健康保険事業会計への税込不足分の繰出金（補てん金）と上記の上下水道3会計における財源不足を補うための一般会計からの繰出金は、合計で2億3,184万円（前年当初比398万円の増加）となっています。今後も施設や機械設備の老朽化による維持管理経費の増加が予想されることから、維持補修や改修

などによる保全及び計画的な更新に努め、将来コストの抑制を図ります。

3 財源の調整

予算要求時点では支出見込額が収入見込額を上回り、5億3千万円あまりの収入不足が見込まれていましたが、優先度を考慮した事業の取捨選択と経常経費の抑制による支出の見直しと国や道負担金補助金、町債の発行による収入予算を確保した結果、支出見込額と収入見込額の差を2億4,300万円までに圧縮しています。

新規事業や重点事業の拡充、各公共施設の改修など、将来を見据えた積極的な投資が現段階で必要と判断して生じたこの収入の不足額については、公共施設整備基金1億8,200万円、財政調整基金6,000万円の取り崩しをもって、収支の均衡を図っています。なお、予算執行においては経費の節減に努め、基金取崩額の圧縮を図ります。

また、ふるさとづくり寄付金により積立をしたふるさとづくり基金のうち150万円を活用して、有島武郎の自筆原稿の購入を予定しています。

その結果、平成24年度末の予想基金残高は約1億2,957万円となります。

基金残高(一般会計)

単位:万円

基金名	H23年度見込み				H24年度見込み			
	積立	取崩	残高	対前年増減	積立	取崩	残高	対前年増減
財政調整基金	27	0	50,190	27	43	6,000	44,233	△ 5,957
減債基金	2	0	3,697	2	1	0	3,698	1
公共施設整備基金	65	11,000	66,278	△ 10,935	90	18,200	48,168	△ 18,110
社会福祉事業基金	58	2	3,211	56	1	1	3,211	0
地域福祉基金	6	6	7,530	0	3	3	7,530	0
スポーツ振興事業基金	0	0	386	0	0	0	386	0
交通遺児育英基金	0	0	17	0	0	0	17	0
ふるさとづくり基金	175	0	687	175	1	150	538	△ 149
土地開発基金	3	0	19,021	3	3	0	19,024	3
産業振興基金	6	0	6,146	6	6	0	6,152	6
一般会計計	342	11,008	157,163	△ 10,666	148	24,354	132,957	△ 24,206

4 主な取組み事業

※ 新 = 新規 拡 = 拡充

守りの経済から攻めの経済へ

① 草地畜産基盤整備事業への支援新

事業費：2億4,769万円

酪農業を営む農業経営者で構成する農業生産法人が事業主体となり、飼料自給率の向上に向けた草地整備と草地の利用集積、飼料生産の生産性向上を図るためのTMRセンター（飼料調製庫やバンカーサイロ、作業機械）の整備などを行う

草地畜産基盤整備事業への支援を行います。

事業期間は平成27年度までの4年間で、国及び受益者の負担金により実施される事業ですが、事業始期における事業者の負担増を考慮し、経営の安定化への一定の支援が必要なことから、飼料調製にかかる設備費の一部について有利な地方債を活用した支援を行います。

また、北海道の支援制度を活用して、事業者が行う草地整備に係る事業費の一部に助成を行うとともに、集約草地の草地整備をあわせて行い、酪農経営基盤の強化を進めます。

②担い手対策と高収益作物の生産支援^新・^拡

新たな二セコ農業の担い手育成対策として、昨今の農業への関心の広がりを背景に本町の地勢や大都市に近い地理的条件を生かして、多様な農業経営体を育成・確保するため、所得目標など経営計画の基準を満たす小規模経営就農者に対し、無利子の貸付金制度を設けます。^新

また、ブロッコリー定植機やホワイトアスパラ被覆資材など、新規作物や新たな栽培技術を導入する生産組合に対して、資機材の購入助成を行い、高収益作物の栽培を奨励します。^拡

③農業生産基盤の整備^拡

農業の生産性の向上に不可欠な良好な農業生産基盤の整備のため、早急な国営農地再編整備の実施に向けた取組みを行います。23年度に事業調査を進めた結果、整備要望は1,000haから1,500haに増加しており、早期の事業化が望まれていることから、期成会による活動をより強化するとともに、引き続き詳細な事業調査を進め、加えて農地の集積化に必要な整備農地の権利調整を行う換地計画の素案の作成を行います^拡。

町独自の事業として明暗渠掘削特別対策事業を継続し、工事施工費用を補助し、生産基盤の整備を進めます。

また、地域で管理する農業用水路の老朽化への対策として、地域が主体となつて行う改修費用の一部を補助するとともに農業集落における町道や農道、農業用水路の草刈や清掃などの共同活動を行う町内8地区の活動団体に対して、引き続き国及び道の制度を通じた積極的な支援を行います（農地・水保全管理支払交付金事業）。

④土づくりと地域循環型クリーン農業の推進

土づくり対策では、製造堆肥の町内流通を一層促進するため、購入費用の助成を継続（200円上乗せ・1,500円/ト）するとともに、地力の向上・景観美化を奨励するため、緑肥作物の作付農家に対する種子代の助成、JAようていと連携した農地の土壌診断事業の実施により、地域循環型クリーン農業の推進に努めます。

また、農地の賃貸借契約に基づく小作料の助成を継続し、農用地の荒廃化防止、

遊休農用地の活用を図ると同時に良好な農村景観の保全に取り組みます。

⑤高品質米生産の推進^{〔拡〕}

クリーン農業と高品質米の産地化の定着化を図るため、化学肥料の低減などクリーン農業に取り組む米生産者に対し、作付面積10アール当たり3千円を補助します。

そのほかニセコ産米で醸造した「蔵人衆」の消費拡大と地元産品としての地位向上など、PR活動を引き続き強化するとともに、新たな市場開拓として米粉や米麴を用いた特産品の開発や料理研究を行い、販路の拡大に取り組みます。^{〔拡〕}

また、ニセコ産米の地産地消を進めるため、1歳を迎えるお子さんがいる世帯や転入世帯、婚姻された世帯に対してニセコ産米「とっておき米・5kg」を贈呈します。

⑥集落支援員・地域おこし協力隊^{〔拡〕}

農業地域を中心に地域活動の支援を行う「集落支援員」の活用と「地域おこし協力隊」を増員して、地域外の人材を積極誘致し、農林業など担い手不足の作業支援、環境保全や地域おこし活動などといった地域全体の協力活動に参加し、地域力の維持・向上と隊員の起業化、定住化を進めます（かかる経費は特別交付税で補てんされます）。

⑦観光客誘客の強化^{〔新〕・〔拡〕}

国内事業としては、競争力の高い魅力ある観光地づくりに向けて、民間事業者のアイデアを生かし、その挑戦を支援するため、民間事業者が企画・実施する観光振興に係る事業経費の5分の4を補助する「ニセコ観光魅力アップ事業補助」を創設します。^{〔新〕}

また、東京ニセコ会との連携により、東京都内で行われる北海道産直フェアへの出展や緊急雇用事業を活用してラジオ局から全道向けに観光情報を発信するなど、観光客の誘客に取り組みます。^{〔新〕}

外国人観光客誘致にあっては、札幌市、小樽市、倶知安町と連携して中国の富裕層をターゲットとしたインセンティブツアーの誘致活動の実施、民間事業者が連携して行う海外プロモーション経費の助成など、観光事業の国際化、誘致事業の更なる拡大を図ります。

観光客のニーズの多様化や外国人観光客の誘致など、さまざまな社会情勢の変化に迅速に対応するため、観光パンフレットを刷新するとともに各温泉の泉質や効能を紹介するパンフレットの作成やリニューアルした町民センターを活用した研修や学会、国際会議などを招へいするMICE誘致パンフレットの作成に取り組みます。

また、国内・海外旅行代理店などへの情報発信やセールス活動を引き続き強化するとともに、ニセコPR用ノベルティグッズを用いた効果的な宣伝広告を組み合わせ、戦略的な観光客招致に取り組みます。

イベント支援強化として、ニセコエリアの観光事業者などで構成する「ニセコフェスティバル実行委員会」等が行う主催イベントや体験プログラム等の広告宣伝経費等に対して助成を行い、幅広い事業者間の取り組みと連携強化を支援します。

⑧観光受入基盤の整備^拡

ニセコ町商工会が事業主体となり、北海道大学との連携のもと、接客サービスの向上や語学学習環境の整備、観光人材づくりなどのプログラム作成と研修会の実施、農・商工連携や地域ビジネスの創造による起業者の養成など、観光リゾート産業の集積化の基礎を作る事業を実施します。町では、事業の実施に際しての人的支援のほか、事業経費への特別貸付を行います。

⑨五色温泉インフォメーションセンターの整備^新 事業費：5,298万円

老朽化の著しい五色温泉休憩所（昭和57年築）の建替えを行います。新しい施設では、休息スペースに加えて、ニセコ山系を訪れる多くの観光客に向けた、豊かな自然を身近にふれられるインフォメーション機能の充実を図ります。

⑩町内消費の拡大^拡

自立・循環型経済システムへの転換を図るため、町内消費意欲の向上と商業の活性化、町内消費の拡大を目的に綺羅カード会が実施する綺羅ポイントカード事業に対して引き続き補助します。

また、新たな取り組みとして、子育て世代の町内消費拡大と子育て家庭への生活支援を目的とした「子育て支援カード」事業に対して補助を行います。

⑪商業の振興や賑わいの創出^新・^拡

町内において小規模事業所を新設又は継承して新たに起業する方、又は業種の転換や事業所の拡張など積極的な事業展開を目指すために建物の新築や増改築、改装を行う費用の一部を助成（対象経費の3分の1以内、限度額150万円）します。^新

また、中心市街地の活性化を図るため、綺羅街道における「市」（通称綺羅キラ市）を開催し、観光客の誘導などにより商店街の賑わいの創出と商店街の活性化を支援します。また、「七夕の夕べ花火大会」への継続支援、商工会女性部への浴衣購入など、これら取り組みの中核的な役割を担う商工事業者に対しての支援を行います。^拡

誰もが健やかに笑顔で暮らせるまち

①認知症高齢者グループホームの整備^新

事業費：1,327万円

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、介護スタッフによる食事、入浴等の生活支援や機能訓練を受けつつ共同生活を行う住居として、認知症高齢者グループホームを整備します。施設の整備、運営は社会福祉法人ニセコ福祉会が行い、施設の整備費用は町が補助を行います。

平成26年度の開設に向けて、平成24年度は用地測量と施設の実施設計、建設用地のボーリング調査を行います。

入所定員：9人×2ユニット＝18人

開設場所：ニセコ町デイサービスセンター隣接地

②高齢者世帯の除雪費用の助成^新

高齢者世帯の私道除雪委託や住宅周辺の除雪サービスなどの現行制度に加え、新たに所得が低い高齢者世帯で冬期間を通じて業者に委託している除雪費用の一部を支援する制度を設けます。

③高齢者世帯の見守り体制の拡充と医療救急情報キットの配布^新・^拡

介護保険事業として行う高齢者の見守り・安否確認による安心確保の取り組みについて、対象を単身者から高齢者世帯へと拡充します。^拡

また、病気や災害時などの際、迅速に救急医療活動を受けられる態勢を整えるため、「かかりつけの医療機関」「服薬」「持病」などの医療情報を書き備えておく「医療救急情報キット」を一人暮らしの高齢者、心身機能の低下や病気などにより日常生活の一部に介護を必要とする虚弱高齢者世帯に配付します。^新

④重度障害者タクシー料金扶助制度及び住宅改修費助成事業

身体に障がいを持つ方の社会参加をより一層促進するため、重度障害者タクシー料金扶助制度の年間利用限度額の引き上げを継続します。

また、介護保険制度及び障害者自立支援法に基づく住宅改修費助成事業についても、住宅改修費の補てんがされない20万円を越える部分の利用者自己負担の半分を町が引き続き助成します。

⑤中学生までの医療費の無料化

子育て家庭への支援として、中学修了までの子どもにかかる医療費の無料化を継続します。

⑥予防接種事業の推進

1歳から就学前までの小児への感染症対策として、おたふくかぜ及び水ぼうそうの予防ワクチンの接種費用を引き続き町が全額負担します。

0歳児から4歳児へのインフルエンザ菌b型（Hib＝ヒブ）による細菌性髄膜炎、肺炎球菌感染症（細菌性髄膜炎）を予防するため、国の補助制度を活用して、ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチン接種費用の全部を町が負担します。

中学1年から高校3年までを対象に子宮頸がんを予防するための接種費用について、国の補助制度を活用して費用の全部を町が負担します（国の制度は高校1年まで）。

高齢者の肺炎重症化の防止のため、重篤化しやすい65歳以上の高齢者を対象に肺炎球菌ワクチンの接種費用の一部を町が引き続き助成します。

⑦健康診査費用の無料化

75歳以上の高齢者の特定健康診査については、受診者負担の軽減と受診率の向上を図るため、引き続き健診費用の無料化を行います。

国民健康保険事業では、病気の早期発見による重症化の予防、医療費の抑制などを目的として、40歳以上の特定健康診査にかかる一部負担金の無料化を継続実施します。

環境にやさしいニセコの創造

①ニセコ町の緑の分権改革の推進^新・^拡

平成23年度に実施した農作物等の保存に雪氷冷熱を利用する「雪氷倉庫」の実証実験を踏まえ、雪氷冷熱を利用する倉庫の新設工事又は既存の倉庫を雪氷利用に改修する工事費用を補助する「ニセコ町雪氷倉庫設置促進補助」を創設（補助率3分の1、上限200万円）します。^新 雪や氷、その他の自然の冷熱など、豊富なエネルギー源を事業者を含めた町全体で活用するよう、新たに任命する環境戦略アドバイザーの助言を得ながら、町内の環境負荷低減の取り組みを進めます。

また、町内3箇所に設置しているマイクロ水力発電設備の実証実験を行い、環境教育への活用のほか、地域への導入に向けた取組を継続して進めるとともに、自然エネルギーの研究実験や講演会の開催など、住民主体の研究会活動を支援します。

②LED街路灯の推進・公共施設の省エネ化の推進^新 事業費：2,790万円

国の補助金を活用し、24年度から26年度までの3年間、町内に点在する街路灯（町及び町内会所有）のLED照明への更新工事を実施します。^新

初年度は、町が所有する街路灯200基の更新工事を行い、実証効果の検証を踏まえて、次年度以降、町内会管理の街路灯のLED化を進める予定です。

また、今後の施設などの公共物の設置、管理にあたっては、更新期などあらゆる機会を捉えて、新・省エネルギー対策を講じます。

③一般住宅の省エネルギー改修の促進

一般家庭における環境負荷低減の取組として、既存住宅の省エネルギー改修（断熱性能向上）費用の一部を引き続き助成します（補助金上限 30 万円）。

④民有林及び町有林の整備

国の補助事業等を活用して民有林の整備を進めるほか、峠地区の町有林（15.24ha）の間伐事業を実施します。

また、町独自の取り組みとして、引き続き森林整備を一層進めるために民有林の保育に必要な除間伐奨励制度を実施し、民有林の環境整備を促進します。

豊かな心と個性ある文化を育む

①教育振興基本計画の策定^新

平成25年度から平成34年度までを計画期間とした教育振興基本計画を策定します。この計画は、本町の教育目標を定め、二セコならではの教育施策を総合的かつ計画的に推進するための指針となるものです。

②子育て家庭への支援

小・中学校のスキー授業で必要となるスキーリフト費用について、引き続きかかる経費を町で負担します。

また、近年の給食における賄材料費の高騰など経費の増加が続いていますが、子育て家庭への支援の一環として本年度も給食費の値上げは行わずに町費で負担することとしています。

③教育環境の充実

二セコ小学校及び中学校に特別支援講師を配置して、障がいや個別的配慮が必要な児童生徒の学習支援を行うほか、二セコ高等学校を主としてスクールカウンセラーを派遣して、学校生活における児童・生徒の心のケアに努めます。

学校ICTを活用した効果的な授業の取り組みを推進するため、学習教材の作成支援などを行う人材を派遣するとともに、これからの国際社会を見据え、幼児期や小学校における国際理解と英語教育の推進による国際感覚の醸成を図るため、幼児センターや小・中学校に英語教育講師を派遣します。

二セコ高校における修学旅行では、昨年度に引き続き、旅行先をマレーシアとして現地ホテルスクールとの連携による国際観光都市におけるホテル実習体験などを通じ、国際社会に通用する人材の育成に努めます。

④国際交流員（CIR）の受入と国際化の推進^拡・^新

国が行うJETプログラムを活用し、海外青年4名の派遣を受け入れます（経費は交付税で補てんされます）。外国語刊行物の編集・翻訳や国際交流事業の企画・立案、外国からの訪問客の接遇など国際交流活動を進展します。^拡

また、国際交流推進協議会において、町民と海外留学生や外国人定住者、国際交流員との文化交流の機会を設けるなどして地域の国際化を推進します。**新**

⑤二セコ小学校屋内体育館の改修**新**

事業費：7,807万円

平成22年度に実施した二セコ小学校校舎の改修に続き、国の補助金を活用して屋内体育館の改修工事を行い、施設の長寿命化、教育環境の向上を図ります。

⑥陸上競技場の改修**新**

事業費：1,918万円

経年により排水機能が著しく低下し、学校行事や地域のイベントの開催に支障をきたしているため、トラック内の暗渠改修と降雨後の乾燥回復力の高い土への入れ替えを行います。

⑦有島記念館周辺環境整備と展示品の拡充**新**

事業費：1,484万円

有島農場や有島文学にゆかりのある有島記念館周辺の景観を保全するため、有島記念公園に隣接する土地を取得保全するとともに、有島記念公園とその周辺を一望することができる自然環境の保全に最大限配慮した散策道の整備を行います。

また、ふるさとづくり寄付金の積立金を活用して、有島武郎の自筆の原稿「雑信一束」を購入し、有島記念館収蔵品の充実を図ります。

⑧学習交流センター機能の充実

町民学習交流センター「あそぶっく」の指定管理者である「あそぶっくの会」が実施する本の読み聞かせや図書の貸し出しサービスなど、さまざまな地域貢献活動に対して必要な支援を行うほか、平成23年度に導入した小・中学校の図書室をネットワークで結ぶ蔵書検索システムの活用など、本を通じて子どもからお年寄りまでの幅広い世代交流が図られるセンター機能の向上を図ります。

⑨その他教育施設の改修

- ・総合体育館機能向上事業（実施設計）
- ・教育住宅改修工事（2棟2戸）

事業費：315万円

事業費：1,208万円

安全で安心な暮らしを支える

①公共施設の耐震改修**新**

事業費：5,151万円

平成23年度に実施した耐震診断結果において、役場庁舎と総合体育館のアリーナに十分な耐震性能を保有していないことが明らかとなりました。

平成24年度は災害発生時の避難所施設となる総合体育館について、国の補助金と有利な起債を活用して耐震補強工事を行います。なお、工事期間中のアリーナの代替施設として各小・中学校の屋内体育館を開放することとしています。

また、災害対策等の拠点となる役場庁舎については、改築の検討を含めたあり

方の基本構想を策定すると同時に財源の検討を行うこととしています。

②防災機能の強化^新

国の防災指針の見直しで、本町は原発事故時の「緊急時防護措置を準備する区域」となることから、原子力防災計画の策定を進めます。

防災対策備品の整備として、非常食の備蓄と保管庫の整備を行います。また、具体的な災害を想定した総合防災訓練を実施し、あわせてレスキューキッチンを使用した非常炊き出し訓練を行うなど応急対応力の向上を図ります。

学校給食に使用している食材への関心が高まっていることから、子どもたちがより安心しておいしく食べられるよう、食材の表面汚染を測定する放射線測定器を購入します。

③コミュニティFM放送局の運営^新

事業費：2,319万円

オフトーク通信に代わる新たな情報共有手段として、コミュニティFM放送局「ラジオニセコ（周波数76.2MHz）」が開局します。行政情報や防災情報に加え、地域の情報や観光情報を幅広くお知らせするとともに、子どもたちをはじめとして町民参加による番組づくりなどにより、地域コミュニティ活動の拠点としての事業を展開します。

なお、放送事業者の株式会社ニセコリゾート観光協会に対し、放送運営に必要な経費の支援を行うほか、局舎周辺の外構工事を実施します。

④消費生活相談センターの運営

消費者生活相談・苦情処理等に対応するため、倶知安町を除く周辺7町村による消費生活相談の広域体制（ようてい地域消費生活相談窓口）を共同運営します。

⑤町道ニセコ登山道路歩道整備

事業費：4,030万円

ニセコアンヌプリ地区と道道岩内洞爺線を結ぶ観光拠点連絡道路の歩行者の安全性を確保するため、道道岩内洞爺線との交点から400mの区間の歩道の設置とLED照明の街路灯10基の整備を実施します。本事業は本年度をもって路線全線の工事が完了し、財源は国の交付金を活用します。

⑥町道羊蹄近藤連絡線歩道整備

事業費：3,720万円

交通量の多い国道5号と道道岩内洞爺線を短絡する幹線町道の沿線住民の歩行者の安全性を確保するため、歩道の整備を進めます。平成24年度は350mの歩道整備と舗装改良工事、350m区間の実施測量設計と用地確定測量、400m区間の用地買収を行います。事業の完了は平成27年度を予定し、国の交付金事業を活用して事業を進めます。

⑦その他町道等の整備

事業費（道路3事業）：2,883万円

・町道照覚寺前通改良舗装事業（延長230m）

- ・町道二セコ湯の里線舗装等補修工事（延長140m）
- ・町道福井南二線法面補修工事
- ・公園遊具等更新事業（ゲートボールコート造成含）事業費：1,000万円

⑧公営住宅の住環境の改善^拡 事業費：1億1,390万円

公営住宅ストック総合活用計画に基づき、西富団地の改修を計画的に進めるための建替え移転住宅として、1棟2戸の新築を行うとともに既存住宅（3棟6戸）の改修に係る実施設計を実施します。

また、老朽化した本通B団地（2棟4戸）の全面的な改修工事と中央団地（2棟8戸）の長寿命化（屋根及び外壁の耐久性向上と給湯設備更新など）工事を行い、住環境の改善を図ります。

⑨中央地区倉庫群の再生計画 事業費：763万円

市街地中央地区の既存倉庫群の再生利用による賑わいの再生や新たな拠点づくりの事業計画をより具体化するため、既存倉庫群の鑑定評価と劣化耐震性調査、倉庫群スペースの再活用計画の最適化の検討を進めます。財源は国の交付金を活用します。

⑩その他主な公共施設の工事

- ・町民センター外構工事（駐車場拡張） 事業費：1,237万円

未来を見据えた行財政の基盤づくり

①総合計画の策定と戦略的な行財政運営

第5次二セコ町総合計画に掲げる「環境創造都市二セコ」の基本理念のもと、まちづくりを推進します。また、新たな財政計画（中期財政見通し）や新行政改革計画に基づいた、より戦略的な行財政運営に取り組みます。

②町税等収納対策の強化

税の公平性を図るため、町税等収納対策推進計画に基づき、新たな滞納の発生抑制と収納対策、後志広域連合との連携を図りながら滞納整理を進めます。

また、納税環境の充実に向けた取り組みとして、平成25年度からの運用を目指し、個人町民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、上下水道料金のコンビニ収納システムの導入を行います。

③計画的な公共施設管理

公共施設の簡易劣化診断や公営住宅ストック総合活用計画、橋梁の長寿命化計画などを活用し、公共施設全般の維持補修について、将来的な負担を減らすよう、計画的な維持管理を進めるとともに公共トイレの清掃の徹底など、利用者に配慮した快適な公共施設の管理に努めます。

5 一般会計 歳入・歳出の内訳（款別）

単位：万円、%

歳 入						
区 分 款	本年度予算 A	前年度予算 B	増 減 額 A-B	増減率	予算構成比	
					本年度	前年度
1 町税	57,539	59,409	△ 1,870	△ 3.1	13.0	13.0
2 地方譲与税	6,000	5,900	100	1.7	1.4	1.3
3 利子割交付金	100	90	10	11.1	0.0	0.0
4 配当割交付金	20	7	13	185.7	0.0	0.0
5 株式等譲渡所得割交付金	0	0	0	0.0	0.0	0.0
6 地方消費税交付金	4,400	4,400	0	0.0	1.0	1.0
7 ゴルフ場利用税交付金	270	200	70	35.0	0.1	0.0
8 自動車取得税交付金	1,050	1,100	△ 50	△ 4.5	0.2	0.2
9 地方特例交付金	350	1,160	△ 810	△ 69.8	0.1	0.3
10 地方交付税	189,000	187,600	1,400	0.7	42.9	41.0
11 交通安全対策特別交付金	90	100	△ 10	△ 10.0	0.0	0.0
12 分担金及び負担金	25,901	2,413	23,488	973.4	5.9	0.5
13 使用料及び手数料	14,343	14,637	△ 294	△ 2.0	3.3	3.2
14 国庫支出金	28,996	47,020	△ 18,024	△ 38.3	6.6	10.3
15 道支出金	15,909	16,264	△ 355	△ 2.2	3.6	3.6
16 財産収入	3,140	2,727	413	15.1	0.7	0.6
17 寄附金	1	1	0	0.0	0.0	0.0
18 繰入金	24,354	22,909	1,445	6.3	5.5	5.0
19 繰越金	2,000	2,000	0	0.0	0.4	0.4
20 諸収入	15,941	11,218	4,723	42.1	3.6	2.4
21 町債	51,496	78,545	△ 27,049	△ 34.4	11.7	17.2
歳 入 合 計	440,900	457,700	△ 16,800	△ 3.7	100.0	100.0

歳 出						
区 分 款	本年度予算 A	前年度予算 B	増 減 額 A-B	増減率	予算構成比	
					本年度	前年度
1 議会費	5,172	5,332	△ 160	△ 3.0	1.2	1.2
2 総務費	102,284	164,275	△ 61,991	△ 37.7	23.2	35.9
3 民生費	48,468	45,552	2,916	6.4	11.0	10.0
4 衛生費	29,507	29,852	△ 345	△ 1.2	6.7	6.7
5 労働費	203	203	0	0.0	0.0	0.0
6 農林水産費	36,383	10,637	25,746	242.0	8.2	2.8
7 商工費	17,217	11,418	5,799	50.8	3.9	2.5
8 土木費	53,254	41,435	11,819	28.5	12.1	9.0
9 消防費	15,881	23,249	△ 7,368	△ 31.7	3.6	5.1
10 教育費	56,072	49,558	6,514	13.1	12.7	10.8
11 災害復旧費	3,489	51	3,438	6,741.2	0.8	0.0
12 公債費	72,670	75,838	△ 3,168	△ 4.2	16.5	16.6
13 予備費	300	300	0	0.0	0.1	0.1
歳 出 合 計	440,900	457,700	△ 16,800	△ 3.7	100.0	100.0

【 この資料のお問い合わせ 】 ニセコ町役場総務課財政係 担当：係長 青木大介
 電 話 0136-44-2121
 業務時間 8:40 から 17:15 まで